

# いわた 文化財だより 第245号

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和7年8月1日発行

## 目次

- 開校 150 周年 旧見付学校へ行こう！・・・ P1～2
- 平常展『自治会共有文書に見る戦争と市内の軍事施設』 P3
- トピック展示『なんで？どうして？古墳で発見！  
いろいろな鳥たち』 P4
- コラム『磐田市の歴史をお届けしています！』  
石津由行 P4

開校 150 周年

## 旧見付学校へ行こう！



静岡県磐田市見付 2452-1 TEL&FAX：0538-32-4511

開館時間：9 時～16 時 30 分 休館：月・祝日の翌日 入館無料

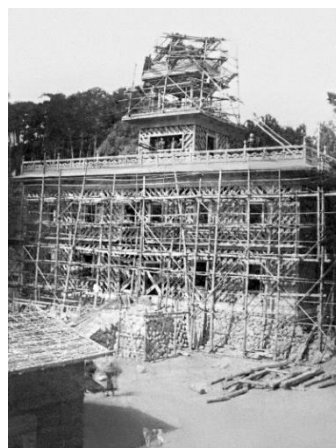
国指定史跡である旧見付学校は、明治8年（1875）8月7日に開校し、今年で 150 周年を迎えました。旧見付学校とその見どころを紹介します。

### 旧見付学校とは

旧見付学校は、日本最古の木造擬洋風小学校校舎で、<sup>ぎ</sup>淡海国玉神社<sup>おうみくにたま</sup>神官・大久保忠利が寄進した境内に、名古屋の宮大工<sup>とうりやう</sup>棟梁・伊藤平右衛門が建築しました。

大正 11 年（1922）に小学校校舎としての役割を終えましたが、昭和 28 年（1953）に磐田市立郷土館となり、平成 4 年（1992）からは磐田市旧見付学校として、教育資料や民具などの展示やイベントをおこなっています。

磐田市では、旧見付学校を次世代に引き継ぐため「磐田市旧見付学校<sup>つきたり</sup>附 磐田文庫保存活用計画」を策定し、施設の維持管理に努めるとともに、これからのまちづくりにも生かしていくことを目指します。



見付学校建設当時の様子

## 建物の魅力 伝統的な技術・地域に根付いた素材と新しい技術の融合

外壁は、日本の伝統的な建築に用いられてきた漆喰が塗られ、校舎の土台には横須賀城（掛川市）の石垣の石と、建築材として馴染みのあった伊豆石（※）を使用しています。

また、窓は上げ下げ式ガラス窓になっており、伊藤平右衛門が、建築中の東京・横浜の洋館を見に行き、取り入れたものだと言われています。

それらの窓のガラスの中には、明治時代に作られた手延べガラスが使われている箇所もあります。現代のガラスよりも、景色が揺らいで見えます。ぜひ、どのガラスか探してみてください。

（※）天竜川河口の市内・掛塚は近世から近代にかけて湊町として栄え、伊豆から石材（伊豆石）も運ばれていました。伊豆石は建築材として使われ、掛塚だけでなく旧見付学校周辺にも伊豆石を使った蔵があります。



旧見付学校の外壁

## 明治期の授業風景の再現 昔のこどもを体験



明治期の授業風景再現

1階の教室では、明治期の授業風景を再現しています。実際に椅子に座ったり、机の上の石盤を使ったり教科書（レプリカ）を手にとって見たりすることができます。

また、教室内には明治時代の足踏みオルガンがあり、演奏することも可能です。壁には、主に明治中期に使用された四ツ丸型時計や明治20年（1887）頃に使われていた「いろは図」が掛けられ、当時の雰囲気を一層引き立てています。

ぜひ、明治時代の教室をご体験ください。

1階西側では企画展の展示、2階と3階には教育資料や民具なども展示しています。昔の遊びを体験できるスペースもあります。5階からの眺望もおすすめです。

### イベント情報

#### ①かすりの着物で町並散策

- と き 10月19日（日）9時30分～11時30分 参加無料
- と ころ 旧見付学校とその周辺
- 対 象 かすりの着物着用は幼児～小学生（散策は親子で）
- 定 員 30人（応募多数の場合抽選）
- 申 込 9月27日（土）までに電子申請または旧見付学校に直接電話
- 問合せ 旧見付学校 TEL&FAX：0538-32-4511



#### ②市制20周年&旧見付学校150周年記念講演会

- と き 12月6日（土）※詳細は10月頃に広報いわた、文化財だより等でお知らせします
- 内 容 旧見付学校や蔵の残る見付のまち並みを中心としたこれからのまちづくりについて、講演会をおこないます。



## 開催中 歴史文書館平常展

# 自治会共有文書に見る戦争と 市内の軍事施設

■と き 開催中～10月17日（金）9時～17時（入館は16時30分まで）

■ところ 歴史文書館1階・2階展示室（竜洋支所内 磐田市岡729-1） 入館無料

■問合せ 歴史文書館 TEL:0538-66-9112 FAX:0538-66-9722

現在、歴史文書館では戦争に関連する展示をおこなっています。当館で所蔵する『自治会共有文書』をはじめ、戦時体制下における地域活動の様子がわかる文書を展示しています。

また、戦時中に市内に設置された「<sup>あけの</sup>明野陸軍飛行学校天竜分教所」や「中部第129部隊（通称）」などの軍事関連施設の紹介をしています。このほか、戦時体制により地域産業が受けた影響がわかる文書なども展示しています。

戦時下の公文書は、政府が国内一斉に焼却処分を命じたため、現在残っている資料は大変貴重なものです。

歴史文書館の目的は、歴史的公文書や地域の資料の保存・公開です。資料を通じ、改めて戦争について考えるきっかけとしていただければ幸いです。

## 地域に残されていた戦争に関する資料を初公開

今年度、市民の方々から寄贈された資料の中から、太平洋戦争開戦時に昭和天皇がイギリスとアメリカに宣戦布告したことを国民に告げた「開戦の詔書<sup>しょうしよ</sup>」や銃後<sup>じゅうご</sup>（※）の女性たちを中心とした防火訓練の様子を写した写真などを紹介します。

（※）戦争時に兵士が戦う前線に対して、国内で後方支援や生活を支える役割をになった国民



防火訓練の様子（バケツリレー）

## 市内にあった戦争にまつわる施設等を紹介



明野陸軍飛行学校天竜分教所  
格納庫の一部

戦争が拡大するにつれて多数のパイロットが必要となり、磐田市内にも飛行訓練施設として明野陸軍飛行学校天竜分教所<sup>そでうら</sup>が作られます。現在、その跡地の一画が袖浦公園になっており、公園内には格納庫の一部が残っています。現在の写真や防衛省の資料などを展示します。

このほかにも、現在のかぶと塚公園内にあった「中部第129部隊（通称）」や、<sup>ぐんじゅ</sup>軍需工場など戦争にまつわる施設なども紹介します。



なんで？  
どうして??

# 古墳で発見！ いろんな鳥たち

4～6世紀に造られた磐田市内の古墳には、儀式のために数多くの埴輪が並べられました。埴輪には家や壺、動物、人物など多くの種類がありますが、それぞれ意味をもって古墳に並べられています。今回は“鳥”の形をした埴輪に注目し、古墳時代の人々が“鳥”に抱いた思いについて紹介します。

この展示をきっかけに、昔の人々が生き物に抱いた思いを知ってみませんか。

と き：令和7年8月2日（土）～10月26日（日）※祝日休館

8時30分～17時 **入館無料**

ところ：磐田市埋蔵文化財センター 1階トピック展示



にわとり  
鶏形埴輪  
(堂山古墳出土)

## 職員リレー コラム

### 磐田市の歴史をお届けしています！

石津由行

歴史文書館は、歴史的に価値がある資料を収集し、広く皆さんへ公開している施設です。今年も、機会あるごとに様々な資料を紹介していきます。

まずは、今年は、戦後80年目の年となります。このことから、現在、平常展「自治会共有文書に見る戦争と市内の軍事施設」を開催しています。戦時体制下における地域活動が分かる文書や、中部第129部隊・明野陸軍飛行学校天竜分教所など、今もその一部が残る軍事施設について紹介しています。

次に、磐田市は今年度、市制施行20周年事業と銘打って、様々な事業を実施しています。当館では、秋に第29回企画展「大久保家を彩った人々」を開催し、旧見付学校の隣にある大久保家に関する文書などを紹介します。また、これに関連して、磐田文庫に関する歴史学習会や大久保家と関わりが深い国学に関する施設巡り（バスツアー）も計画しています。



歴史文書館外観

最後に、年号が昭和になり、100年目の年です。昨年も開催した、昭和時代を振り返る「昔懐かしい写真展」を今年も計画しています。

一人でも多くの皆さんに当館所蔵資料を見ていただき、磐田市の歴史について興味を持っていただければ幸いです。

ぜひ、歴史文書館へお出かけください。

**編集後記** 今年は、急な夏の訪れに全く体がついていけず、体調管理の大切さを学びました。まだまだ暑い日が続きます。皆様も、どうぞご自愛くださいませ。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部  
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 **磐田 文化財だより**

**検索**

